

アンモニア、「e‐fuel」 はできませんが、経済活動が正 蓄電池、CCUS(CO°回収 ップしていきます。 対策を行いながら活動をギアア さをあらためて感じています。 たが、直接面談することの大切 会の開催など創意工夫をしまし しない日はありません。水素、 しています。引き続き感染防止 **常化して需要が戻ることを期待** 2022年も気を緩めること CNに関しては、報道を目に

比較的中長期的な視点から「脱

低炭素化・次世代燃料普及に貢献

丸紅エネルギー 本郷 孝博社長

・有効利用・貯留)などについ 術的なプレークスルーや、ばく の時間がかかると感じています。 次世代燃料・電気の普及には技 て知れば知るほど、グリーンな たりが強くなり過ぎると、安定 大なインフラ投資が必要で相応 方で化石燃料に対する風当

禍」「カーボンニュートラル (C

ンシャルワーカーの方々には感

謝いたします。

地域社会に貢献しているエッセ

した。とくにSSの現場で日々

キーワードは「新型コロナ 022年の展望について

-2021年の総括と2

を最重要課題として取り組みま

2021年は新型コロナウイ

特約店のみなさまとリアルで会

感染の勢いが増している間は

供給を担うサプライチェーンに ンジするには、適正なマージン すが、石油業界が事業を健全に 続き堅調な環境が続くと思いま 継続しながら脱炭素化にチャレ 2022年の資源価格は引き

の確保が重要です。 り組みについて ――新たな事業分野での取

20年に引き続き事業の継続性 ない状況が続きましたが、20 ルス禍で気を緩めることができ

ポータルサイトの立ち上げやウ えず大変歯がゆい思いでした。

> める必要があります。 ら、バランスよく脱炭素化を進 ます。次世代燃料が普及するに はまだまだ時間がかかることか 投資をしづらくなる懸念があり でいます。 ついて

す。同時に低炭素化への取り組維持・強化に引き続き注力しま べく「新規事業デザイン部」を みや次世代燃料の普及に貢献す を担っており、ネットワークの 品の安定供給という社会的使命 立ち上げて陣容を強化しました。 エネルギー商社として石油製

年丸紅エネルギー取締役専務執行役員、2021年代

業エネルギー部長、2015年九州支社長。 2018 員。2012年丸紅 エネルギー第一部門長補佐兼産 2010年丸紅エネルギー取締役社長補佐常務執行役 貿易部商流開発課長、2008年サハリン開発部長。 紅入社。1989年MIECO。2003年丸紅石油

表取締役社長

境整備、人材開発にも取り組ん 新たな事業に挑む社内文化や環 まざまな案件を検討しています。 業」「地方創生」を切り口にさ 炭素化」「モビリティ」「海外事 事業開発力を強化するため、

謝いたします。 か安定供給にご尽力いただき感 は新型コロナ禍で日々大変なな ざいます。特約店のみなさまに 新年あけましておめでとうご

生まれ。1982年横浜国立大学経済学部卒。同年丸 孝博(ほんごう・たかひろ)氏=1959年

-CN関連の取り組みに

の開設、ユニフォームの刷新の SSをベースに特約店のサポー しています。カーシェアの検討 どの紹介や導入サポートを推進 ほか、楽天ポイントやQRコー 行っています。ポータルサイト ド決済、スマートフォンを活用 ループ独自の施策の提案などを トを行う部署で、元売や丸紅グ した中古車査定、カーリースな 「新規事業デザイン部」では 「カーライフ事業推進部」は からLNGやガスへの燃料転 するべく協働しています。 築においては株主の丸紅が海外 り、水素バリューチェーンの構 製造はコスト競争力に課題があ 換、BDF(バイオディーゼ 需要の創出など中・下流で貢献 推進しています。当社は国内の な選択肢ですが、国内での大量 案件で実証試験や事業化調査を また低炭素化につながる重油 水素は次世代燃料として有力

えも行っています。 ではグリーンな電力への切り替 組んでいます。グループのSS 用、水素の需要創出などに取り ル)の研究、排出権の創出と利 -特約店へのメッセージ

ます。本年もどうぞよろしくお を推進していきたいと考えてい たが、2022年は積極的にお なかなかお会いできませんでし 願いいたします。 会いして一緒になってビジネス

て取り組みます

経営トップに聞く

2021年は新型コロナ禍で モビリティ社会において地域

も始めています。

します。丸紅グループで総合力 に貢献する「サービスステーシ を発揮してサポートします。 ズも多様化していきますが、ど かをみなさまと一緒に考え提案 のようなサービスが求められる なって地域社会や消費者のニー 変わりません。環境変化にとも ョン」としての役割や重要性は しては引き続き最重要課題とし ます。石油製品の安定供給に関 料が普及するには時間がかかり もいると思いますが、次世代燃 脱炭素化に不安をお持ちの方

【燃料油脂新聞 2022 年 1 月 5 日】

DERVIEW